

# 令和8年度台東区芸術文化支援制度への申請を検討している方へ

## ～台東区アートアドバイザーからのメッセージ～

### 池田 卓夫（音楽ジャーナリスト）

---

あたらしい時代のアートの輝きを台東区から！

浅草や上野などの観光スポットを多数擁する東京・台東区ではここ数年、インバウンドの外国人観光客が急増しました。最初は「爆買い」主導でしたが、次第にこの地域の伝統文化、あるいは上野公園の美術館やホールで生まれる新しい文化への関心への関心を深めつつあります。あなたも一翼を担い、あたらしい時代のアートを台東区から世界へ、発信してみませんか？ 私たちアドバイザーも親身にお手伝いします。

### 伊藤 あつ子（株式会社 風土文化デザイン 代表取締役社長）

---

台東区ならではの伝統や芸術に、新しい感性を掛け合わせ、訪れる人の心に残る体験を生み出す企画を期待しています。

また、その企画に触れることで、新しい発見や感性が生まれ、育っていってくれることを楽しみにしています。

### 観世 葉子（俳優）

---

台東区には、いろいろな魅力的な場所があります。お寺や神社のスペース、教会もありますし、古民家や老舗の広間やホール、そして様々なギャラリーや貸しスペース。まだまだ探せばもっと沢山あります。台東区は奥が深いですよ！そこであなたの夢を羽ばたかせてください！

### 熊倉 純子（アートプロデューサー）

---

全額独り占めじゃなくて、適正な予算規模で面白そうな企画はワタシ的には好感度アップです。

とくに助成金に初チャレンジの時は、負担になりすぎない予算規模で企画を考えるのが秘訣かも！

### 富塚 絵美（アートディレクター）

---

公的な支援を受けて実施することで、みなさんが取り組む芸術活動が、自分の範疇を超え、新たな価値として見えてくることがあります。

夢見がちな気持ちを殺さずに、現実的な一歩を踏み出しましょう。

### 坂 真太郎（能楽師シテ方観世流）

---

混沌とする世界情勢の中にあっても、人々に生きる活力や、癒し、気付きを与える力が芸術文化にはあると信じています。今冬の豪雪など、自然災害の多いこの日本の国土ではありますが、今こそ世界が、日本が、台東区が元気になるような、魅力溢れる企画をお待ち致しております。

### 望月 左太寿郎（邦楽囃子演奏家）

---

台東区には、長い歴史の中で受け継がれてきた芸能や文化が、今もなお日常のすぐそばに息づいていましたが、近年はそうした伝統の気配や空気感が、少しずつ薄れてきているようにも感じられます。

だからこそ、伝統を大切にしながら、現代、そして未来へとつないでいく――

皆さんならではの挑戦や発想が、この街の新しい魅力を生み出していくのだと思います。

その広がり、心から楽しみにしています。